

TAMRON®

産業の眼を創造貢献するタムロン

株主通信

第70期 中間報告書



2016年1月 1日



2016年6月30日

Contents

ごあいさつ	1-2
Zoom up (特集)	3-4
トピックス	5-6
セグメント別事業の概況	7-8
連結財務ハイライト	9-10
連結財務諸表	11
会社情報	12
フォトコンテスト開催告知	13
タムロンのものづくり	14



代表取締役社長 鯨坂 司郎

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第70期上半期(2016年1月1日～2016年6月30日)の営業概況についてご報告申し上げます。

当上半期における世界経済を概観しますと、米国経済は、原油安に伴う設備投資の成長押し下げ等、企業部門の一部に弱さが見られましたが、雇用・所得環境の改善により個人消費が堅調に推移し、景気は回復基調が継続いたしました。欧州経済は、個人消費主導の緩やかな回復基調となりましたが、生産や輸出の弱さに加え、英国のEU離脱問題に伴い金融市場の混乱が見られ、实体经济への波及も懸念される等、先行き不透明感が一段と強まりました。中国経済は、輸出の不振や固定資産投資の伸び悩みが継続いたしました

が、公共工事や補助金、減税等の各種政策効果により、減速傾向が継続していた成長率は下げ止まりました。

一方わが国経済は、円高や新興国経済の減速等により企業収益が悪化し、個人消費も消費者マインドの悪化により横ばいとなる等、景気は足踏み状態が続きました。

当社グループ関連市場であるデジタルカメラ市場では、レンズ交換式カメラの出荷台数が、第1四半期では前年同期比で若干の減少となっていましたが、熊本地震の影響等により第2四半期は前年同期比3割減と大幅な減少となりました。交換レンズもレンズ交換式カメラ同様に、第2四半期は前年同期比で2割減となりました。

レンズ一体型カメラにつきましても、市場縮小の継続に加えて熊本地震の影響を受けたことから、第2四半期は前年同期比で約半減となりました。

このような状況の下、当社グループの当上半期における経営成績は、ドル・ユーロともに円高となったことに伴う為替のマイナス影響を受けたこともあり、売上高は304億99百万円(前年同期比13.4%減)となりました。

利益面につきましては、為替のマイナス影響に加え、厳しい市場環境ながらも、原価低減、販管費の削減に注力したことから、第2四半期においては2ケタの増益となりましたが、第1四半期の減益を補えきれず、営業利益は13億77百万円(前年同期比50.2%減)、経常利益は14億86百万円(前年同期比47.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億34百万円(前年同期比65.1%減)となりました。

通期の見通しについて

経営環境につきましては、為替相場の動向や中国、ロシア等の新興国経済の先行きに加え、英国のEU離脱問題の实体经济への波及や金融資本市場の変動影響等も懸念され、経済情勢の不確実性が高まっております。

当社グループの当上半期の連結業績は概ね計画通りに推移いたしました。直近の為替動向等を考慮し、2016年8月4日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、売上高640億円(前期比11.0%減)、営業利益30億円(前期比34.1%減)、経常利益31億円(前期比39.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益17億80百万円(前期比56.0%減)を見込んでおります。

※下半期の前提為替レートにつきましては、1米ドル=105円(当初想定レートは110円)、1ユーロ=115円(当初想定レートは125円)としております。

配当金について

中間配当金につきましては、当上半期業績や財務状況等を総合的に勘案し、1株につき25円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年9月

Zoom up

新製品発売!

- タムロン90mmマクロレンズの新たな幕開け
- 高い光学性能を継承しながら、手ブレ補正機構「VC」の性能向上を実現

SP 90mm F/2.8 Di MACRO 1:1 VC USD (Model F017)

高解像力と美しいボケ味で定評をいただいているSP 90mmマクロレンズの光学性能を継承し、各種機能を高めた新しい90mmが誕生しました。「VC」機構に新しく追加されたシフトブレ補正機能により、無限遠からマクロ域まで手ブレ補正性能が更に向上され、「USD」の制御ソフトを改善することにより、AFの合焦速度・精度の向上を達成しました。

さらに、今までよりも高いレベルで外部から侵入するチリや水滴を防ぐ防塵防滴構造の採用や、レンズ最前面に耐久性に優れた防汚コートを実施するなど各種機能を高めました。

そして細部まで緻密に仕上げた新しい外観デザインの採用により、金属鏡筒の高い質感と滑らかな手触りをもつ新しい90mmマクロに生まれ変わりました。

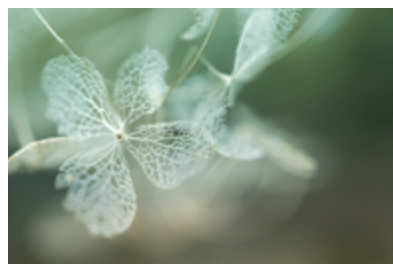
優れた解像性能と反射防止性能の実現

レンズ構成は11群14枚。特殊硝材LD (Low Dispersion : 異常低分散) レンズ 1枚とXLD (eXtra Low Dispersion) レンズ2枚を贅沢に使い色収差を良好に補正。また、マクロ領域から遠景まで、あらゆる撮影距離で高い光学性能を実現する「フローティングシステム」を採用。優れた解像性能を実現しています。

さらに、eBAND (Extended Bandwidth & Angular-Dependency) コーティングとBBAR (Broad-Band Anti-Reflection) コーティングを組み合わせることで反射防止性能を飛躍的に向上させ、クリアでヌケの良い画像を得ることができます。



焦点距離: 90mm 露出: F/11 1/5秒



焦点距離: 90mm 露出: F/2.8 1/80秒

NEW



速報

SP 85mm F/1.8 Di VC USD (Model F016) が世界的に権威あるEISAアワード『ヨーロッパ DSLRレンズ 2016-2017』賞を受賞
タムロンレンズは11年連続受賞の快挙を達成



新製品発売!

- 人を撮るために誕生した、SP 85mm F/1.8
- 手ブレ補正機構「VC」を世界初搭載※、最高レベルの光学性能を追求

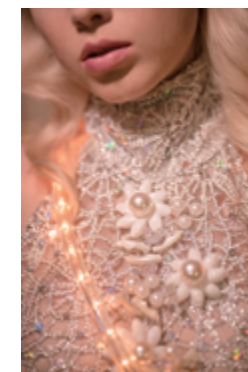
SP 85mm F/1.8 Di VC USD (Model F016)

SP 85mm F/1.8は、人を撮るために誕生した純粋ポートレート・レンズです。かつてない、ポートレートに特化したレンズを目指し、徹底した色収差補正を行い、手ブレ補正機構「VC」、簡易防滴構造など諸機能を備え、新たな次元の中望遠単焦点レンズへと練り上げました。合焦部の優れた解像力と、柔らかい自然なボケが生み出す立体感。様々な表情を繊細に表現し、共有する時間までも浮かび上がらせるレンズです。細部まで緻密に仕上げた外観デザイン、金属鏡筒の高い質感と滑らかな手触りは、撮る手応えを直感的に伝えます。

※35mm判フルサイズ対応のデジタル一眼レフカメラ用85mm F/1.8レンズにおいて。2016年1月現在。(タムロン調べ)

高い解像力と自然なボケ味のハーモニーから生まれるかつてない人物描写の立体感

合焦部の優れた解像力と、柔らかい自然なボケが生み出す、かつてない人物描写の立体感。そこにはタムロン SP 85mm F/1.8ならではの、ポートレート表現があります。高解像・高画素時代における光学設計の基本方針は、徹底してコマ収差・非点収差を低減し、画面の隅まで、点像の被写体が点像として写るような解像性能の追求にあります。しかし、ただ解像力が良いだけのレンズからは、美しい写真表現は生まれません。そうタムロンは考え、合焦部からアウトフォーカス部にいたる部分のなだらかなボケ方など、様々なボケのシミュレーションを経て、ボケ味の描写まで配慮したレンズを作り出しました。



焦点距離: 85mm 露出: F/1.8 1/60秒



焦点距離: 85mm 露出: F/1.8 1/320秒

NEW



Topics トピックス

業界初* 光学防振機構搭載 小型カメラモジュール発売

近年、セキュリティ市場では、高機能・高性能でありながら、小型・軽量なカメラのニーズが高まっています。タムロンでは業界初の光学防振機構搭載の超小型カメラモジュールを開発しました。撮影時の振動を抑制する防振技術を搭載し、さらに小型・軽量化を実現。様々な形状、用途に合わせたカスタマイズが可能なモジュール形態であるため、セキュリティ市場だけでなく、現在大きく注目されているドローンなど、幅広い用途でご使用いただけます。

*小型カメラモジュール量産品において。2016年1月現在。(タムロン調べ)



Model: MP1010M-VC

特機関連



タムロンレンズが3年連続『TIPAアワード』を受賞* 『TIPAアワード 2016』は2機種同時受賞を達成

SP 35mm F/1.8 Di VC USD (Model F012)
18-200mm F/3.5-6.3 Di II VC (Model B018)

35mm判フルサイズデジタル一眼レフカメラ対応の大口径広角レンズ「SP 35mm F/1.8 Di VC USD (Model F012)」が『TIPAアワード2016/BEST DSLR PRIME LENS』を、APS-Cサイズ相当デジタル一眼レフカメラ専用高倍率ズームレンズ「18-200mm F/3.5-6.3 Di II VC (Model B018)」が『TIPAアワード2016/BEST ENTRY LEVEL DSLR LENS』を同時受賞しました。

*2014年『TIPAアワード/BEST EXPERT DSLR LENS』SP 150-600mm F/5-6.3 Di VC USD (Model A011)、2015年『TIPAアワード/BEST CSC ENTRY LEVEL LENS』14-150mm F/3.5-5.8 Di III (Model C001)に続く3年連続受賞。

『TIPAアワード2016/BEST DSLR PRIME LENS』賞



SP 35mm F/1.8 Di VC USD (Model F012)

『TIPAアワード2016/BEST ENTRY LEVEL DSLR LENS』賞



18-200mm F/3.5-6.3 Di II VC (Model B018)

受賞

第19回環境コミュニケーション大賞 『優良賞』を2年連続受賞



当社「CSR報告書2015」が、第19回環境コミュニケーション大賞(主催：環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム)の環境報告書部門において「優良賞」を受賞し、2年連続受賞となりました。「環境コミュニケーション大賞」は、優れた環境報告書などを表彰し、事業者等の環境経営及び環境コミュニケーションへの取組を促進することなどを目的としています。今回は環境報告書部門195点、環境活動レポート部門107点のあわせて302点の応募があり、当社は、環境報告書部門に応募して優良賞(審査委員長賞)59点のうちのひとつに選ばれました。

受賞



SP 35mm F/1.8 Di VC USD (Model F012)



SP 45mm F/1.8 Di VC USD (Model F013)

『iFデザインアワード2016』『レッドドット・デザイン賞:プロダクトデザイン2016』両賞を受賞

SP 35mm F/1.8 Di VC USD (Model F012)
SP 45mm F/1.8 Di VC USD (Model F013)

2015年9月に発売した、35mm判フルサイズデジタル一眼レフカメラ用の大口径広角レンズ「SP 35mm F/1.8 Di VC USD (Model F012)」と大口径標準レンズ「SP 45mm F/1.8 Di VC USD (Model F013)」が、『iFデザインアワード2016』および『レッドドット・デザイン賞:プロダクトデザイン2016』の両賞を受賞しました。

受賞

お知らせ

コーポレートガバナンス体制を強化

指名・報酬等の方針・手続きの一層の独立性・客観性を高めるため、社外取締役を議長とする指名委員会・報酬委員会を設置しました。

レンズ関連

10~12μm ピクセルピッチディテクター対応 小型・軽量 遠赤外線カメラ用単焦点レンズ発売

写真関連

ポートレートに最適な中望遠単焦点レンズ SP 85mm F/1.8 Di VC USD (Model F016) ニコン用、キヤノン用同時発売

写真関連

各種機能を高めた新しい90mmマクロレンズ SP 90mm F/2.8 Di MACRO 1:1 VC USD (Model F017) ニコン用、キヤノン用同時発売

特機関連

3メガピクセル 近赤外対応 パリフォーカルレンズ発売

特機関連

5メガピクセル 近赤外対応 パリフォーカルレンズ発売

写真関連

革新的で個性的な2本の単焦点レンズ SP 35mm F/1.8 Di VC USD (Model F012) SP 45mm F/1.8 Di VC USD (Model F013) ソニー用発売

レンズ関連

世界最軽量VGA用ディテクター17μmピクセルピッチ対応 遠赤外線カメラ用光学3倍ズームレンズ 50-150mm F/1.6発売

2016

1月

January

2月

February

3月

March

4月

April

5月

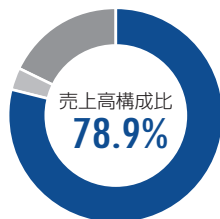
May

6月

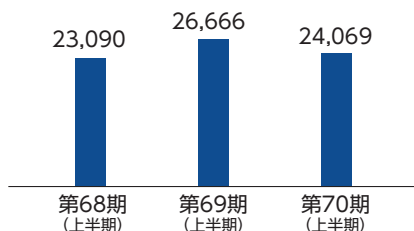
June

写真関連事業

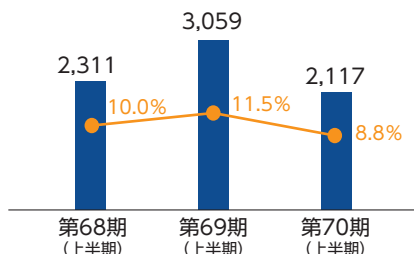
写真関連事業は、OEMが受注機種
の好調により増収となりましたが、
自社ブランド交換レンズは、2月にSP
90mm F/2.8 VC USD (F017) の
マクロレンズを、3月にはSP85mm
F/1.8 VC USD (F016) の中望遠
単焦点レンズを発売し、高仕様設計
による高性能を追求した「SP」シリー
ズのラインナップ拡充を図りましたが、レンズ交換式カメラ及び
交換レンズ市場の低迷の影響等により、減収となりました。
このような結果、写真関連事業の売上高は240億69百万円
(前年同期比9.7%減)、営業利益は第2四半期では増益となり
ましたが、21億17百万円(前年同期比30.8%減)となりました。



売上高 (百万円)

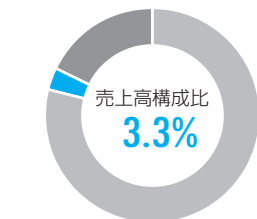


営業利益 (百万円) / 営業利益率 (%)

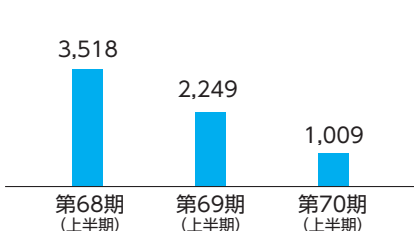


レンズ関連事業

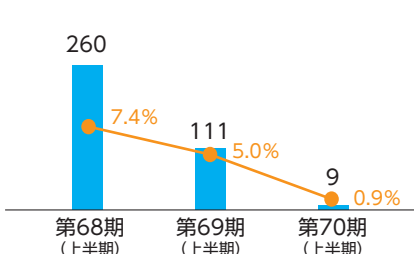
レンズ関連事業は、コンパクトデ
ジタルカメラやデジタルビデオカ
メラの市場縮小が継続した影響等
により、減収となりました。
このような結果、レンズ関連事
業の売上高は10億9百万円(前
年同期比55.1%減)、営業利益は
9百万円(前年同期比91.5%減)
となりました。



売上高 (百万円)

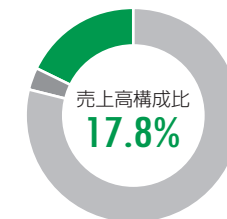


営業利益 (百万円) / 営業利益率 (%)

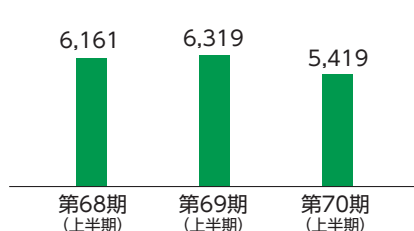


特機関連事業

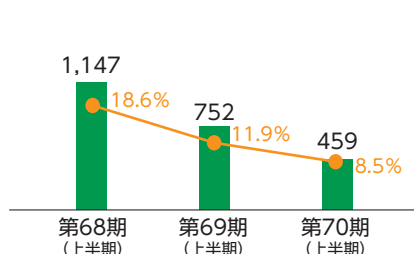
特機関連事業は、車載カメラ用
レンズが車載カメラ市場の成長に
伴い大幅増収となりましたが、監視
カメラ用レンズは競争激化や顧客
の在庫調整等の影響で販売が低
迷したこと等により、減収となり
ました。
このような結果、特機関連事業
の売上高は54億19百万円(前
年同期比14.2%減)、営業利益は4億
59百万円(前年同期比39.0%減)
となりました。



売上高 (百万円)



営業利益 (百万円) / 営業利益率 (%)



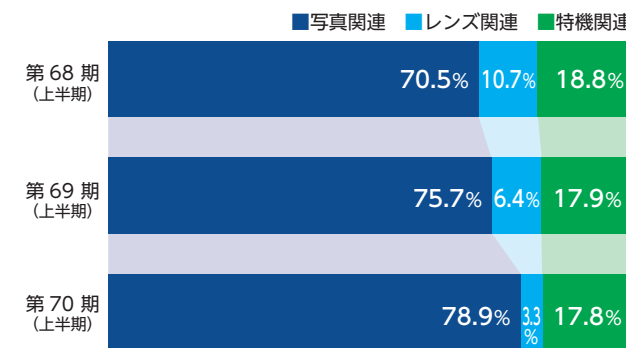
セグメント別データの推移

(百万円)

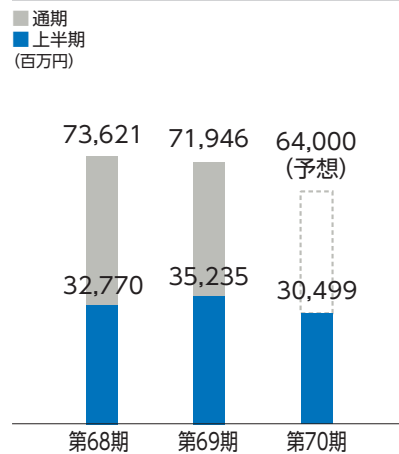
	第68期 (上半期)	第69期 (上半期)	第70期 (上半期)	
写真関連	売上高	23,090	26,666	24,069
	セグメント利益	2,311	3,059	2,117
レンズ関連	売上高	3,518	2,249	1,009
	セグメント利益	260	111	9
特機関連	売上高	6,161	6,319	5,419
	セグメント利益	1,147	752	459
セグメント利益の調整額*		△ 1,153	△ 1,159	△ 1,209
連結営業利益		2,565	2,764	1,377

*セグメント利益の調整額は、当社の総務、経理等の本社部門に係る配賦不能営業費用等です。

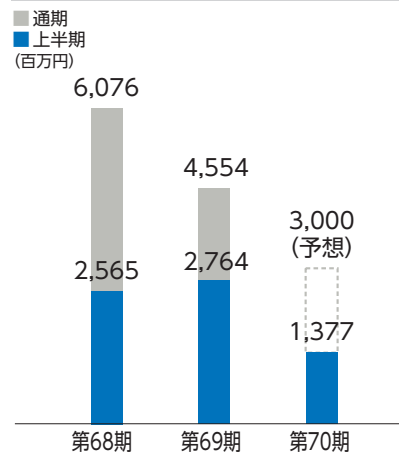
連結売上高構成比率の推移



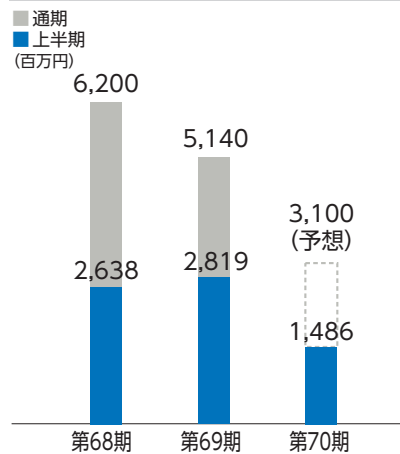
売上高



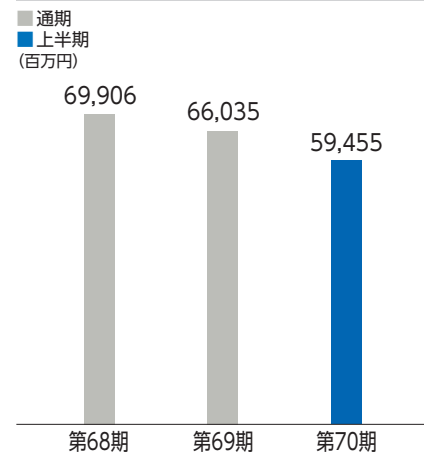
営業利益



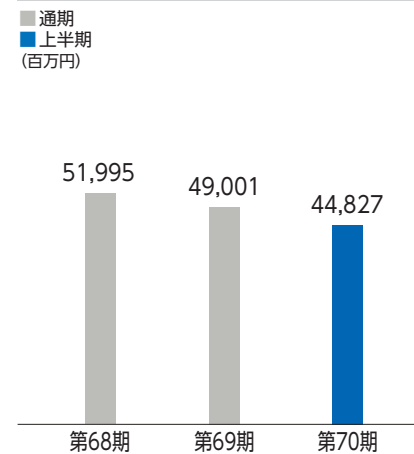
経常利益



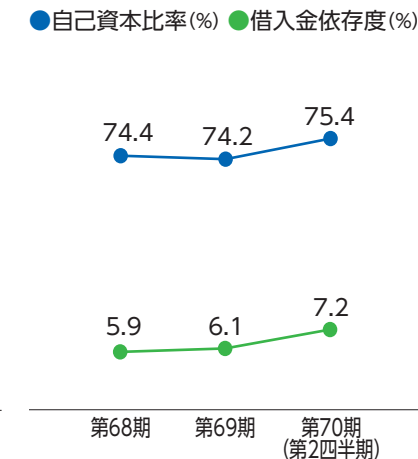
総資産



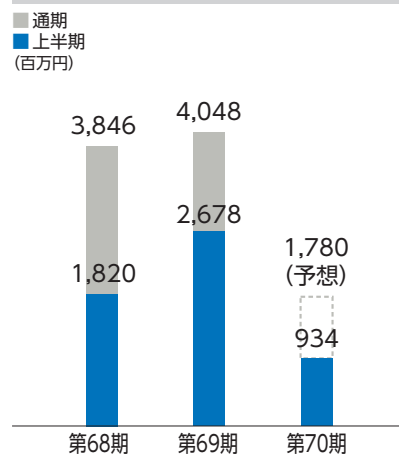
純資産



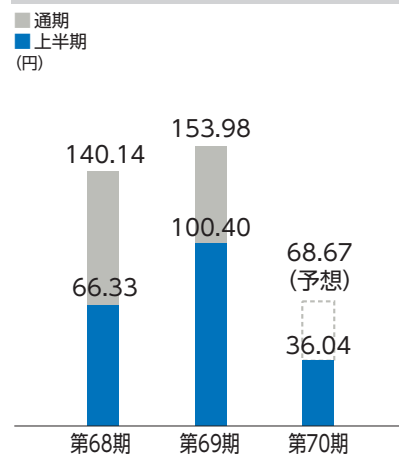
自己資本比率 / 借入金依存度



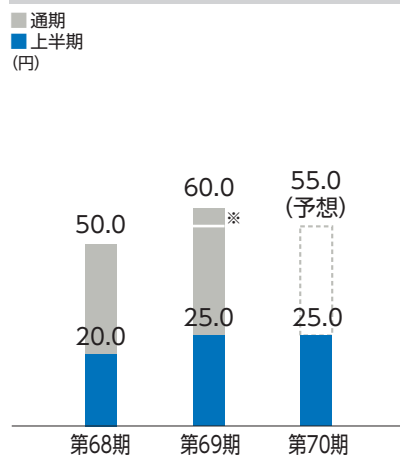
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



1株当たり当期(四半期)純利益

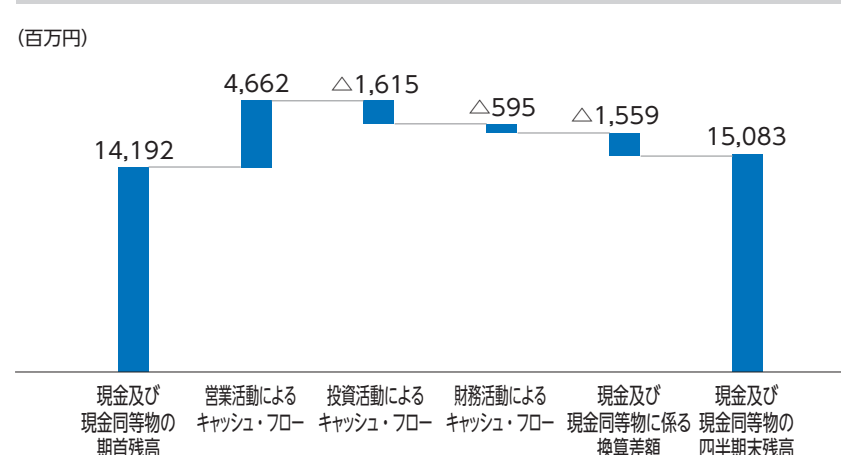


1株当たり配当金

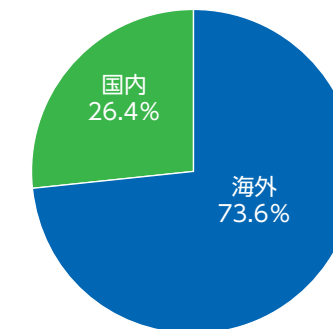


*記念配当5円

キャッシュ・フロー (第70期上半期)



海外売上高比率 (第70期上半期)



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 (2016年6月30日現在)	前期末 (2015年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	40,399	44,920
固定資産	19,056	21,114
資産合計	59,455	66,035
負債の部		
流動負債	11,965	14,594
固定負債	2,662	2,439
負債合計	14,628	17,033
純資産の部		
株主資本	44,516	44,489
その他の包括利益累計額	311	4,512
純資産合計	44,827	49,001
負債純資産合計	59,455	66,035

Point

流動資産

受取手形及び売掛金が31億37百万円減少した一方、現金及び預金が8億91百万円増加したこと等により、流動資産は前期末に比べ45億21百万円減少し、403億99百万円となりました。

固定負債

長期借入金が1億74百万円増加したこと等により、固定負債は前期末に比べ2億23百万円増加し、26億62百万円となりました。

純資産

為替換算調整勘定が39億2百万円減少したこと等により、純資産は前期末に比べ41億74百万円減少し、448億27百万円となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 (2016年1月1日から 2016年6月30日まで)	前第2四半期累計 (2015年1月1日から 2015年6月30日まで)
売上高	30,499	35,235
売上原価	20,760	23,821
売上総利益	9,738	11,413
販売費及び一般管理費	8,361	8,648
営業利益	1,377	2,764
営業外収益	204	191
営業外費用	95	136
経常利益	1,486	2,819
特別利益	—	753
特別損失	77	—
税金等調整前四半期純利益	1,409	3,572
法人税等	474	894
四半期純利益	934	2,678
親会社株主に帰属する四半期純利益	934	2,678

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 (2016年1月1日から 2016年6月30日まで)	前第2四半期累計 (2015年1月1日から 2015年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,662	6,807
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,615	△1,255
財務活動によるキャッシュ・フロー	△595	△4,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,559	64
現金及び現金同等物の増減額	891	1,564
現金及び現金同等物の期首残高	14,192	15,915
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額	—	394
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,083	17,875

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益が14億9百万円、減価償却費が15億78百万円、たな卸資産の減少額が12億9百万円となったこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローは46億62百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が14億55百万円となったこと等により、投資活動によるキャッシュ・フローは16億15百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増額が1億98百万円、長期借入れによる収入が7億円となった一方、長期借入金の返済が5億86百万円、配当金の支払額が9億7百万円あったこと等により、財務活動によるキャッシュ・フローは5億95百万円の支出となりました。

会社概要

2016年6月30日現在

商号	株式会社タムロン
創業	1950年11月1日
設立	1952年10月27日
本社	埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
資本金	69億23百万円
従業員数	5,016名(連結)

役員

2016年6月30日現在

代表取締役社長	鰐坂 司郎
取締役副社長	新井 宏明
取締役副社長	志村 忠寛
取締役副社長	桜庭 省吾
専務取締役	大瀬 英世
専務取締役	濱田 憲一
専務取締役	阿保 正行
常務取締役	市川 敬
常務取締役	川鍋 宏
常務取締役	増成 弘治
取締役	北爪 泰樹
取締役	大塚 博司
取締役	張 勝海
取締役	清水 秀雄*
取締役	横瀬 三亀夫*
常勤監査役	土屋 次男
常勤監査役	並木 孝行*
監査役	利根 忠博*
監査役	西本 恭彦*

注1. *印の取締役は社外取締役、監査役は社外監査役であります。
2. 当社は、取締役 清水 秀雄、取締役 横瀬 三亀夫及び監査役 並木 孝行を東京証券取引所の定める独立役員として、同取引所に対し届け出ています。

株式の状況

2016年6月30日現在

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	25,950,000株
単元株式数	100株
株主数	6,822名 ※単元未満除く

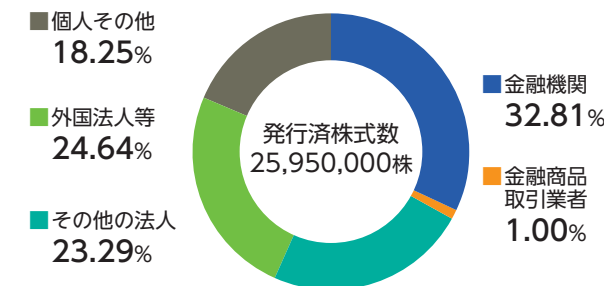
大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社ニューウェル	4,898	18.87
ソニー株式会社	3,129	12.06
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS	1,517	5.84
株式会社埼玉りそな銀行	1,122	4.32
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NVI01	1,074	4.14
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - HONG KONG PRIVATE BANKING DIVISION-CLIENT ACCOUNT	986	3.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	653	2.51
日本生命保険相互会社	580	2.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	424	1.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	415	1.60

注. ソニー株式会社の持株数3,129千株は、みずほ信託銀行株式会社へ委託した信託財産であります。信託約款上、議決権の行使並びに処分権については、ソニー株式会社が指図権を留保しております。

株式所有者別分布

※単元未満除く



作品募集中

“マクロレンズのタムロン”が主催する、マクロレンズ限定のフォトコンテスト

第13回 タムロンマクロレンズ フォトコンテスト

募集
期間

2016. 5.15 日 → 10.31 月

賞金総額
100万円
相当



グランプリ (全応募作品より選出・1名) 賞金 **30万円**

ネイチャーの部

植物や昆虫、小動物などのネイチャー写真を対象とします。

審査員 石井 孝親 氏(写真家)

- 金賞(2名) 賞金 **10万円**
- 銀賞(2名) 賞金 **5万円**
- 銅賞(4名) 賞金 **1万円**
- 入選(5名) 賞金 **5千円**
- タムロン賞*(1名) 賞金 **5万円**

ノンジャンルの部

人物・アクセサリ・料理など、ネイチャー写真に限らず広く募集します。

審査員 岡本 洋子 氏(写真家)

- 金賞(2名) 賞金 **10万円**
- 銀賞(2名) 賞金 **5万円**
- 銅賞(4名) 賞金 **1万円**
- 入選(5名) 賞金 **5千円**
- タムロン賞*(1名) 賞金 **5万円**

*タムロン賞・・・タムロンマクロレンズで撮影された作品から選出されます。

応募の詳細や規約等につきましては、本コンテストのウェブサイトでご確認ください。 <http://www.tamron.jp/special/contest/macrocon2016/>

タムロンのものづくり Vol.3

量産する Mass produce

日本で極められた品質と生産技術を継承し、大量生産を実現する海外工場。品質を維持しながら自動化を推進し、様々な製品を世界中へお届けします。



大規模な設備で生産する

大量の精研削機械が設備され、日本の生産技術が生かされている中国・仏山工場。様々な種類のレンズを研磨できる技術力、レンズごとに異なるコーティングに対応できる多種多様な設備が大量生産を実現しています。

そして、巨大な成形機や大規模な金属加工設備を導入し、迅速かつ自立した量産体制を実現しています。



安定した高品質を追求する

組み上げ前に行う成形部品の受入検査では、3D検査機でナノレベルの寸法測定を行います。外観検査では、経験豊富な熟練工が、外観のみならず作動感、音など、複数の項目で製品をチェックします。こうした検査をへて、タムロンは高品質な製品を世界中へお届けします。



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 毎年 12月31日 期末配当 毎年 12月31日 中間配当 毎年 6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) ※ 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 ※ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 当社ホームページ http://www.tamron.co.jp

お知らせ

- **住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金の支払について**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社タムロン

〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
TEL 048-684-9111(代) FAX 048-683-8289 <http://www.tamron.co.jp>

■ IR情報関連に関するお問い合わせ：経営企画室

TEL 048-684-9114(午前9:00~午後5:20) FAX 048-683-8282 e-mail: kabushiki@tamron.co.jp

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、商品のご紹介からIR情報に至るまでの様々な情報を掲載しています。ぜひご活用ください。

主な掲載コンテンツ

- 企業情報
- 製品一覧
- IR情報
- CSR
- 採用情報
- お問い合わせ

タムロン トップページ

URL <http://www.tamron.co.jp>



タムロン フォトサイト(写真レンズ用フォトサイト)

リニューアルに伴い、URLを変更いたしました。

URL <http://www.tamron.jp>



UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



本冊子は環境保全のため、植物油インキで印刷しています。